

6/4 中村

Date 2002年5月30日

To Office of Experimental
Planning and Coordination

MACHINE TIME EXECUTIONREPORT (2001-6-2 CYCLE)

Experimental Group	T504	Reporter	歳藤利行
Scheduled Period and Shift	3月20日 9:00~17:00	Main, Sub, Para	
Experimenters 星野香 歳藤利行 中村琢			
<p>SUMMARY OF EXECUTION AND RESULTS</p> <p>箔の実験</p> <p>エマルシオンプレートと金属箔(ステンレス8枚、アルミニウム10枚、銀10枚)を交互にはさんで真空バックしたモジュールに負電荷の4,2,1GeV/cのビームを、それぞれ500スビル程度ずつ照射した。ビームごとにそれぞれの照射角度をかえて、解析時に区別ができるようにした。</p> <p>モジュールをビーム中心へ移動するために、電動リフトを使用した。</p> <p>照射後のモジュールは名古屋大学F研で現像した。</p>			
<p>EXECUTED MACHINE TIME, BEAM CONDITION, DOWN TIME etc.</p> <p>ITπ2</p>			
<p>COMMENTS</p> <p>ビーム照射量を測定するモニターシステムの取り扱いのミスで、予定の100から100倍程度のビームが入ってしまった。エマルシオンの解析は困難である。</p>			